

4. 独立型小児病院における CIED 植込みと管理 兵庫県立こども病院では…

田中 敏克 兵庫県立こども病院循環器内科

5. 小児の CIED に関する医療費

芳本 潤 静岡県立こども病院循環器科

小児心臓植込み型デバイス (CIED) は、小児循環器領域においても欠かせない治療となっている。しかしながら、多くの CIED は成人を対象にデザインされており、小児においてはその植込み・管理に際し、小児の特性を理解し、工夫して施行しなければならない。新生児 - 学童期の小児においては、経胸壁心外膜リードを用いて小児心臓血管外科医により CIED の植込みが施行されている場合がほとんどである。小児 CIED の大きな問題点は、多くの独立型小児病院で心臓再同期療法 (CRT) や植込み型除細動器 (ICD) の施設基準を満たすことができないことである。これらの CIED 植込みが不可であることは、小児心筋症や致死性不整脈の治療に大きな後れを生じることとなる。経胸壁心外膜リードを用いての心臓血管外科医による CRT、ICD の植込みは、その他の小児 CIED 植込み技術・安全性と大きな相違はないと考える。この問題を解決すべく、独立型小児病院の CIED の現状を把握し、討論することが今回のセッションの目的である。

第1会場 15:50~16:50

植込み型デバイス委員会 教育・認定制度部会/チーム医療委員会合同セッション

植込み型心臓デバイス認定士制度始まる！

座長 高木 雅彦 関西医科大学総合医療センター不整脈治療センター

渡邊 英一 藤田医科大学循環器内科

演者

1. 植込み型心臓デバイス認定士制度とは？ 立ち上げまでの経緯

栗田 隆志 近畿大学医学部附属病院心臓血管センター

2. 植込み型心臓デバイス認定士制度の意義と期待：看護師の立場から

梅津 努 筑波大学循環器内科不整脈学

3. 植込み型心臓デバイス認定士制度の意義と期待：臨床工学技士の立場から

前川 正樹 おもと会大浜第一病院診療技術部臨床工学科

近年、植込み型心臓デバイスの発展はめざましく、日常臨床において植込み患者にその多岐にわたる高度な機能を十分に提供し患者管理・教育を行うためには、医師とデバイスに関わる看護師・臨床工学技士などのメディカルプロフェッショナル (MP) との連携協力が必要不可欠である。

デバイスに関わる MP の知識の標準化・共有・レベル向上、患者の生活の質の向上や合併症回避などを目的とし、デバイスに関わる MP を認定する包括的な制度として、日本不整脈心電学会において「植込み型心臓デバイス認定士制度」が 2019 年より始まることとなった。

本セッションでは、ワーキンググループメンバーから植込み型心臓デバイス認定士制度とは何か、立ち上げまでの経緯などを、また MP の立場からこの制度の意義、現場からの意見等を講演いただき、医師、MP の皆様に本制度をご理解いただき、より多くの MP の皆様に本制度を利用していただけることを目指したい。